

フランス語の 文化を 楽しもう!

フランスモード界における

日本の影響

講演者

クレモンティーヌ・サンドネール

Clémentine Sandner

(ファッションデザイナー)



クレモンティーヌ・サンドネール

日本を拠点に活動するフランス人で、ファッションデザイナー。日本の伝統織物の再評価を専門としている。エスマード大阪校と京都校では、4年間デザインの教員を務めた。2016年京都でブランド“Mikan”を立ち上げ、手仕事によるアイテム製作に加え、布地の再利用や「ゴミゼロ」でのものづくりを広める縫製ワークショップを開催

フランスモード界における日本の影響

長年、フランスと日本の芸術は互いに刺激をあたえ合っており、ファッション分野においては特に顕著です。本講演では、その両国の関係性をフランス側からの視点で眺めます。日本の衣服が西洋での服飾の発展にどのような影響を与えたのか、なぜ数十年ごとに着物がデザインの参考として用いられ、新しい女性像の提示にまで至っているのか考えます。最後に、現代フランスのモード界において、日本の衣服が果たしている役割について見ていきます。特に、サステイナブルや環境配慮型のファッションが台頭する中、着物が与えている影響は興味深いものがあります。



広島大学

文学部フランス文学語学教室

言語 フランス語(日本語逐次通訳付き)

日時 2021年6月20日(日)19時

参加費 無料

会場 Zoom開催



リンクよりご登録ください <https://forms.gle/irDc51N9xqpWTtJb7>